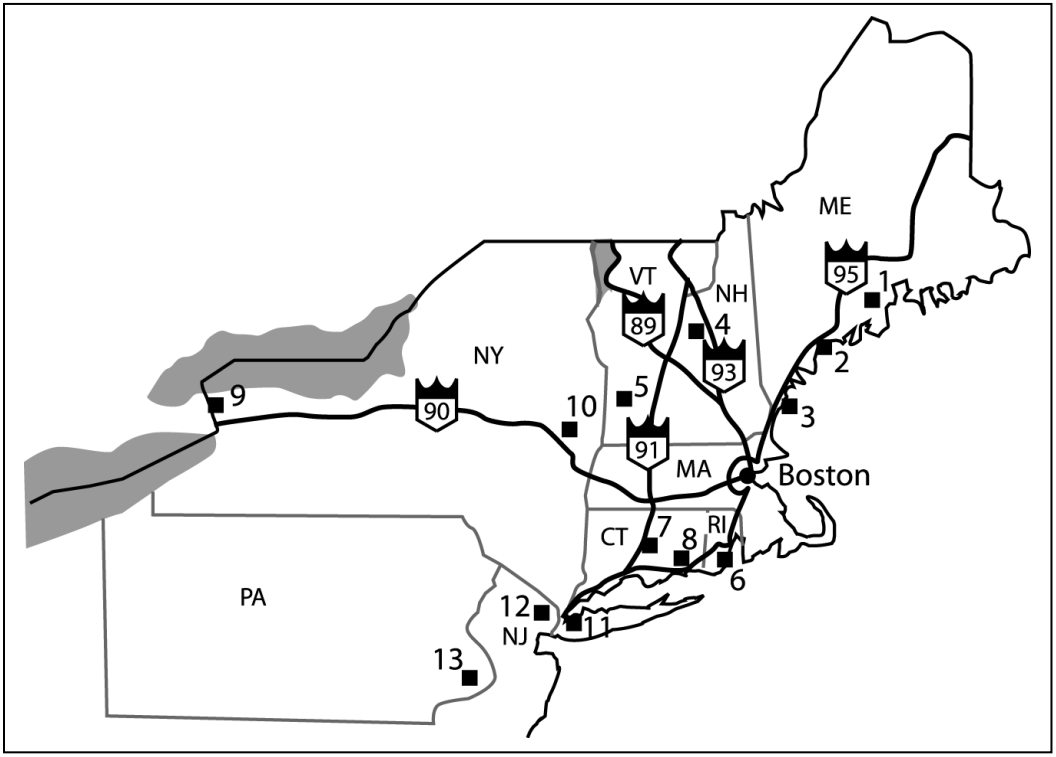
12
観光
Sightseeing

やっと新居にも落着き、ボストンでの暮らしにも慣れはじめると、以前から訪れてみたいと思っていたところへの旅心が湧いてくるというものです。そんな時に、週末や連休を利用して気軽に出かけられる旅先を、紹介してみました。大自然やリゾート地など、歴史的背景や見所なども網羅して、あなたの旅づくりのガイド役をお引受けしましょう。

《New England & North East Sightseeing Map》



1	Acadia National Park, ME	P240
2	Freeport, ME	P176
3	Kittery, ME	P176
4	White Mountain National Forest, NH	P240
5	Green Mountain National Forest, VT	P241
6	Newport, RI	P241
7	Hartford, CT	P242
8	Mashantucket, CT	P242
9	Niagara Falls, NY	P243
10	Saratoga Spa Springs, NY	P243
11	Manhattan, NY	P243
12	Mitsuwa, NJ	P244
13	Philadelphia, PA	P244

マサチューセッツ州の観光名所

ボストン美術館を筆頭に、マサチューセッツ州には大・中・小規模の美術館・博物館があり、古い歴史をもつ州にふさわしい種々様々なコレクションを堪能できる。また、日帰りから2、3泊程度で楽しめる観光名所や史跡（Historic Sight）もたくさんある。ボストンから近郊の都市へと順に案内しよう。その前に下記の点に留意してほしい。

- この観光ガイドは車を使うことを前提としているが、路線バスや地下鉄を使って行けるところもある。
- 入場料や開館時期・時間は2017年現在のもの。変更になることもあるので、あらかじめ問い合わせることをすすめる。
- Bed & Breakfast、Country Inn などは子供の年齢の下限を定めていたり、ペット同伴は不可という所もあるので、予約する時によく確かめること。
- Boston Globe の木曜日の‘Calendar’、「土曜版」、日曜日の‘Travel’などには、その季節の旅行情報がたくさん載っているので参考にするとよい。

▼無料観光ガイド
各地の観光局では、カラー印刷の美しい観光ガイドを発行している。旅行を計画する前に以下のサイトよりダウンロードすると便利。
www.massvacation.com

▼図書館で無料パスが借りられる！
Public Library（公立・町立図書館）でミュージアムの割引または無料パスカードを借りることができる。図書カードを持っていると、使用する前日または当日に借りることができる。予約を事前に受け付けていることが多い。当日返却するもの（返却ポストにいれてもよい）とクーポン券のように返却しなくてもよいものとがある。
Boston Public Library
700 Boylston St., Boston
☎（617）536-5400

ボストン（Boston）

●ボストン美術館（Museum of Fine Arts, Boston）

465 Huntington Ave., Boston　☎(617)267-9300　www.mfa.org
開館：月・火・土・日 10:00～17:00　水～金 10:00～22:00
休館：元日、ペイトリオッツデイ、独立記念日、感謝祭、クリスマス
入場料：大人＄25　シニア・学生＄23　子供(7～17歳)＄10（平日の15時以降と土・日・学校休日は無料）　6歳以下無料
水曜日 16:00～21:45 は無料（寄付歓迎）。
入場券を保持していれば10日以内ならもう一日無料で入館できる。
世界の四大美術館の一つとされ、ここを目的にボストンを訪れる美術愛好家も多い。世界一を誇る5万点の浮世絵コレクション、中国・韓国の仏像・陶器、エジプト美術、ヨーロッパ印象派のコーナーは、特に人気がある。美術鑑賞に疲れたら、2階のカフェ・レストランや地下のカフェテリアで休憩するのもよい。その他、図書館、スライド・ライブラリーもある。美術館には会員制度があり、$75～$114 の会費で一年間有効の特典（入場無料、駐車場・ミュージアムショップ・レストランの割引など）が受けられる。インフォメーションブースで日本語の館内案内図がもらえる。日本語のオーディオガイドあり（有料：$4~$6）。

◎ボストン美術館企画ツアー　予約☎(617)369-3395
ボストン美術館が企画する、Beacon Hill や Back Bay、ボストンの建物を訪ねるツアー（Boston Architectural Landmarks Bus Tour）などに参加するのもよい。 その他、ウォーキングツアーもある。要予約。有料。

▼ボストン美術館の駐車場
The Huntington Lot, The Fenway Lot, The Museum Road Garage があり、30 分＄6、それ以降は 30 分毎に＄４追加。＄29/日、＄17/5 時以降。

ボストンゆかりの歴史上の人物

～フェノロサ、岡倉天心とボストン美術館～

フェノロサは東京大学で哲学を教えながら、熱心に日本の絵画を買い集めた。当時日本では新しい物だけを尊重し、古い物は打ち壊そうとする風潮があり、貴重な仏像や美術品が失われていく運命にあった。その中でフェノロサのような人たちの努力により、辛うじて難をのがれることができた物が多々ある。またフェノロサは、岡倉天心と共に、東京美術学校の設立にも力を尽くした。1890 年にはアメリカに帰国し、ボストン美術館の初代日本部長となった。後に岡倉天心も東洋部の責任者として招かれた。天心はイザベラ・ガードナー夫人などの厚い支援を受けながら、アジアの美術の紹介に努めた。ボストン美術館には、天心の業績を記念して、「天心園」という日本庭園が作られている。

●イザベラ・ステュワート・ガードナー美術館

(Isabella Stewart Gardner Museum)

25 Evans Way, Boston　☎(617)566-1401　ww.gardnermuseum.org

開館：月・水・金・土・日　11:00～17:00　木曜日　11:00～21:00

休館：火曜・元日・ペイトリオッツデイ・独立記念日・感謝祭・クリスマス

入場料：大人＄15　シニア＄12　学生(ID 要)＄5　美術館会員・18 歳以下(大人同伴)・イザベラという名前の人・軍人と家族は無料。

(2 日以内のボストン美術館のチケットがあれば＄2 の割引がある。)

15 世紀のベネチア風宮殿式の館は、各部屋が美術品で埋め尽くされ、回廊に囲まれた中庭には四季の花々が咲き乱れている。収蔵品は 2,000 点以上とされ、イタリア・ルネッサンス期を中心とするヨーロッパ絵画、東洋美術などのコレクションが主である。展示品の保護のため、館内は薄暗く、独特の雰囲気がある。予約すれば日本語の案内ツアーも受けられる。レストランがあり、気候の良い時は戸外で食事を楽しめる。カルダーウッドホールや 2 階のタペストリールームでは、著名な演奏家によるコンサート(有料)も行なわれる。

コンサート情報は☎(617)278-5156 または concerts@isgm.org まで。

●トロリー・ツアー(Trolley Tours)

ボストン市内の観光名所を解説つきで回るツアー。途中の乗り降り自由。数社が(異なった色の車両を用いている)トロリーを運行している。チケットはウェブサイトから購入すると安く手に入る。

www.trolleytours.com

◇Old Town Trolley Tours Boston(オレンジと緑)

☎(855)396-7433

▼美術館の「友の会」に入ってパトロンになりませんか?

日本に比べて芸術鑑賞が安く楽しめるのは、自治体からの援助の他に、企業・個人の寄付に負うところが大きいためでしょうか。ヨーロッパには貴族が芸術家のパトロンとなって後援した歴史があり、アメリカにも「芸術を支える」人々がいます(寄付金は税金の控除対象にもなる)。寄付金額も$80 程度から何千ドルと様々ですが、その額に応じて Sponsor や Patron、Friend などという会員になれます。チケット予約の優先や、ミュージアムショップでの割引など、いろいろな特典があります。

●フリーダム・トレイル（Freedom Trail）

www.thefreedomtrail.org

ボストンコモン（Boston Common）からスタートするフリーダム・トレイルは、地面に赤い線が引いてあるので、地図を片手に徒歩でボストンの主な名所旧跡をたどることができる。

●ボストン・ダックツアー（Boston Duck Tours）

☎（617）267-3825（DUCK）　www.bostonducktours.com

水陸両用車での市内観光。途中チャールズ川に入り、川からの景色を楽しめる。

ツアー実施時期：立春～11 月最終日曜日、ホリデーツアーは 12 月中の金～日

出発地点：Prudential Center、Museum of Science、New England Aquarium

ツアー所要時間：約 80 分

チケット料金：大人$39.50　学生・シニア・軍人$33　子供（3~11 歳）$27

3 歳未満$10.50　ネットで予約購入するのが確実。

●観光バス

主な観光地を短時間で効率よく回るには観光バスを使うとよい。数社がいろいろなコースを提供しているので、好みのものを選んで電話で申し込む。

◇Brush Hill Tours（The Gray Line）

☎（800）343-1328　☎（617）720-6342　www.brushhilltours.com

▼ダウンタウンを車で走る時は地図を確認！

出かける前に、グーグルマップなどで混雑具合などの交通情報をチェックするとよい。

●バック・ベイ（Back Bay）

ボストンが急激に発展した 1700 年代終わりから埋め立てられた地域。この地名はボストン湾の一部であったことに由来している。1800 年代の都市計画事業により、ボストンの商業の中心としても栄えてきた。レンガ造りの落ち着いたアパートや、美しい教会が多く見られ、ヨーロッパのような雰囲気を醸し出している。この地域は地下鉄を利用し、徒歩で観光とショッピングが楽しめる。

●子供博物館（Boston Children's Museum）

308 Congress St., Boston　☎（617）426-6500

www.bostonchildrensmuseum.org

開館：10:00～17:00（**金** 10:00～21:00）**元日は** 12pm **から**

休館：**感謝祭・クリスマス（両前日は** 15 **時閉館）**

入場料：**大人**$16　**子供**（1~15 **歳**）$16　**会員・**12 **ヶ月未満は無料**

「展示品に触れて体験できる」ことが特徴で、子供だけでなく大人も楽しめる。3 階には本物の「京の町屋」をそのまま京都から移設したコーナー（ボストンと京都市は姉妹都市であり、1979 年に両市の友好関係を表わすものとして京都市より寄付された）がある。毎年 1 月には「日本のお正月」を祝って、「餅つき」や「和太鼓」、「はねつき・こま」「獅子舞い」などの催しが行なわれる。

●科学博物館（Museum of Science）
1 Science Park, Boston ☎(617)723-2500 www.mos.org
開館：9:00〜17:00（金 9:00〜21:00）夏期（7/5~9/4）9:00〜19:00
休館：感謝祭・クリスマス（両前日は 14:00 閉館）
展示ホールのモットーは「触れることのできる科学」で、子供も大人も楽しめる。オムニシアター、プラネタリウムは混み合うので、予約チケットを買っておくと便利。館内にレストランおよびギフトショップがある。会員制度あり。

●アフリカン・アメリカン歴史博物館（Museum of African American History）
14 Beacon St., Suite 401, Boston ☎(617)725-0022 www.maah.org
ニューイングランド地方のアフリカ系アメリカ人の歴史と文化を探る博物館。
開館：月〜土 10:00〜16:00
入場料：大人$5 子供（13~17 歳）$3 12 歳以下は無料

●アーノルド植物園（Arnold Arboretum of Harvard University）
125 Arborway, Boston ☎(617)524-1718 www.arboretum.harvard.edu
開園：日の出から日没まで。トイレのある建物は、月〜金 9:00〜17:00 土・日 10:00〜17:00（祝祭日は休み）
入場料：無料（寄付歓迎）
ハーバード大学所有植物園。ニューイングランドの植物を中心に 14,700 種類を保有。子供連れで四季折々の植物を楽しめるが、特に 5〜6 月は花の香りが満ちて素晴らしい。中でもライラックの花が咲く時期（5〜6 月）は見事である。

●ニコルスハウス博物館（The Nichols House Museum）
55 Mount Vernon St., Boston ☎(617)227-6993
www.nicholshousemuseum.org
開館：11:00〜16:00（ツアーのみ）
休館：主な祝祭日 夏期（4〜10 月）日・月 冬期（11〜3 月）日〜水
入場料：大人$10 子供$10 12 歳以下は無料
ビーコンヒルの一画にあり、州会議事堂を設計したチャールズ・ブルフィンチによって建てられた。19〜20 世紀のボストンの裕福な家がそのまま残され、貴重な文化遺産となっている。現在、International Friendship League と Beacon Hill Garden Club の本部としても使われている。

●USS コンスティテューション号博物館（USS Constitution Museum）
Charlestown Navy Yard, Building 22, Charlestown ☎(617)426-1812
www.ussconstitutionmuseum.org
開館：4/1~10/31（9:00〜18:00） 11/1~3/31（10:00〜17:00）
休館：元日・感謝祭・クリスマス
世界最古の現役戦艦コンスティテューション号と、18〜19 世紀の船に関する展示。

●ニューイングランド水族館（New England Aquarium）

1 Central Wharf, Boston　☎(617)973-5200　www.neaq.org

開館：月～金 9:00～17:00　土・日 9:00～18:00（夏期は一時間延長）

入場料：大人$26.95 子供(3～11 歳)$18.95　シニア$24.95　3 歳未満無料

館内は 4 つのフロアに分かれており、6,000 匹以上の海の生物を見ることができる。メインはジャイアントオーシャンタンク、そのほかアメリカの川魚、北の海の魚、考えるギャラリー、トロピカルギャラリー、オーディトリアム、ディスカバリー、あざらしのプール、IMAX シアター（大人$9.95、子供・シニア$7.95）がある。

●ジョンF.ケネディ・ライブラリーと博物館

（John F. Kennedy Presidential Library and Museum）

Columbia Point, Boston　（GPS）220 Morrissey Boulevard, Boston

☎(617)514-1600 ☎(866)JFK-1960　www.jfklibrary.org

開館：9:00～17:00　休館：元日・感謝祭・クリスマス（前日は 14 時閉館）

入場料：大人$14　学生・シニア$12　子供・退役軍人$10　12 歳以下無料

ケネディ大統領の業績を記念し、何百万人もの国民の寄付によって建てられた博物館。資料・遺品・写真の展示、フィルムの上映など。

ブルックライン（Brookline）

●ジョンF.ケネディの生家（John F. Kennedy National Historic Site）

83 Beals St., Brookline　☎(617)566-7937

www.nps.gov/jofi

開館：5 月下旬～10/31 水~日 9:30～17:00（月・火は休館）　入場料：無料

ケネディ大統領を知るためにはブルックラインにある生家を訪ね、その後ボストンのジョンF.ケネディー・ライブラリーと博物館へ行くのも興味深いであろう。冬期は休館だが、2 週間前までに予約すればガイド付きツアーが可能。

ケンブリッジ（Cambridge）

●ハーバード大学・MITのキャンパスツアー

両校ともキャンパス内には自由に入れる。大学の歴史、構内の建物の由来などの知識を得たい場合は、両校ともに学生による楽しいツアーがある（英語）。また、周辺も学生街らしい若さとアカデミズムに満ちている。

◇Harvard Univ. Information Center　☎(617)495-1573

www.harvard.edu/community 月~土 9:00～17:00（日・祝祭日休み）

◇MIT Information Center　www.institute-events.mit.edu/visit/tours

11:00～15:00 学生によるキャンパスツアー

サイトの Contact から問合せ、申し込みができる。

●ハーバード大学博物館（Harvard Museum of Natural History）

ハーバード大学内には、数々の美術館・博物館があり、一般に公開されている。

＜以下の 4 つの博物館は同一建物内にあり、開館時間など共通。＞

26 Oxford St. and 11 Divinity Ave., Cambridge　☎(617) 496-7827

www.hmnh.harvard.edu

開館：月～日 9:00～17:00

休館：元日・感謝祭・クリスマスイブ・クリスマス

入場料：大人$12　シニア・学生$10　子供（3~18 歳）$8

（ハーバード大の学生・職員、ケンブリッジ市居住者、3 歳未満、MA 居住者/日曜午前・水曜 15:00～17:00（9～5 月）は無料）

◎比較動物学博物館（Museum of Comparative Zoology）

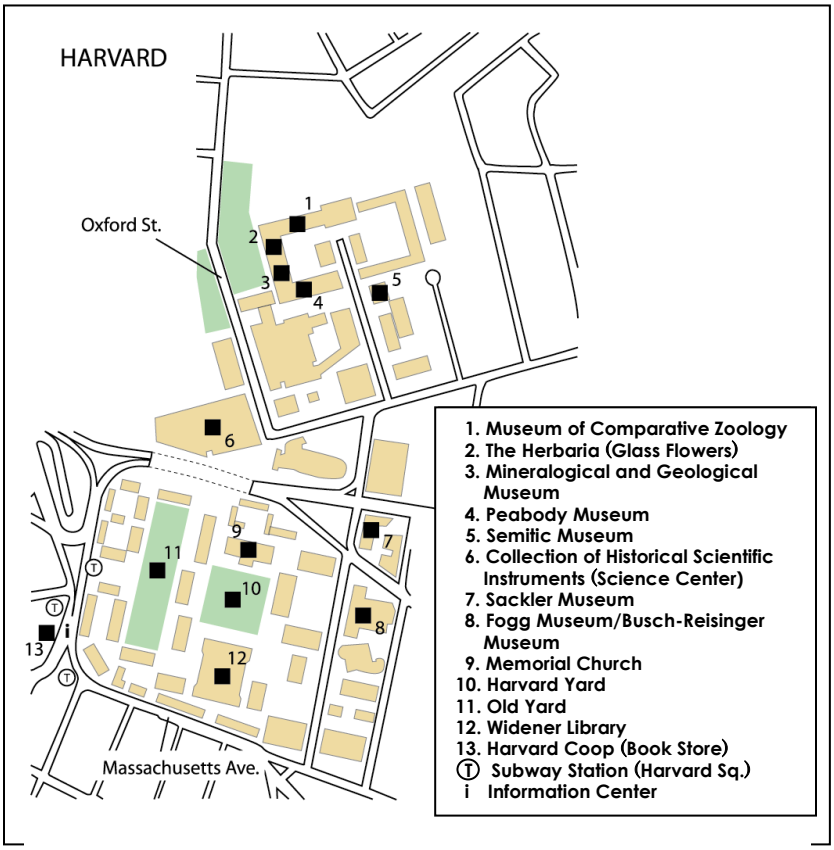
約 2 億年前から現代にいたるまでの動物や化石や剥製の標本が中心。

◎植物学博物館（Harvard University Herbaria）

ドイツの職人によって作られたガラス製の花の標本が特に有名。

◎鉱物学・地質学博物館（Mineralogical and Geological Museum）

世界的に有名な鉱物標本のコレクションがあり、その数は6,000 点以上といわれる。



◎ピーボディ考古学・民族学博物館（Peabody Museum of Archaeology and Ethnology）

マヤ遺跡とネイティブアメリカンに関するコレクションなど。

◎セミティック博物館（Semitic Museum）

6 Divinity Ave., Cambridge

☎(617) 495-4631

アラビア・ヘブライなど中近東文化の調査・発掘の展示。

●ハーバード大学美術館（Harvard Art Museums）

＜以下の 3 つの美術館の開館時間などは共通。＞

☎（617）495-9400　www.harvardartmuseums.org

開館：月～日 10:00～17:00　休館：祝祭日

入場料：大人＄15　シニア（65＋）・学生（18＋）＄10（ハーバード大の学生・職員、ケンブリッジ市居住者、18 歳未満、MA 居住者/土曜午前は無料）

◎サックラー美術館（Arthur M. Sackler Museum）

485 Broadway St., Cambridge

アジア、中近東の美術・工芸品を展示。

◎フォッグ美術館（Fogg Museum）

32 Quincy St., Cambridge

中世から現代までの西欧美術中心。ボッティチェリ、ルーベンス、レンブラント、アングル、ルノワール、ターナー、セザンヌ、モネ、ドガ、ゴッホ、ピカソなどの作品がある。

◎ブッシュ・ライジンガー美術館（Busch-Reisinger Museum）

32 Quincy St., Cambridge

中世から現代までの美術と彫刻を展示。フォッグ美術館の裏にあり、入り口はフォッグ美術館 2 階のドアから入る。

◎Collection of Historical Scientific Instruments

1 Oxford St., Cambridge　☎（617）495-2779　www.chsi.harvard.edu

入場料：無料

開館：（Putnam Gallery）月～金 11:00～16:00、（Foyer Gallery）月～金 9:00～17:00　サイエンスセンター（Science Center）内。日時計、望遠鏡など科学史における発明品の展示。

☆ハーバード大学付近は駐車スペースが少ないので、地下鉄やバスを利用した方がよい。

●MIT 博物館（MIT Museum）

265 Massachusetts Ave. Building N51, Cambridge　☎（617）253-5927

www.mitmuseum.mit.edu

開館：月～日 10:00～17:00（7 月・8 月 10:00～18:00）

休館：元日・メモリアルディ・独立記念日・レイバーディ・感謝祭・クリスマスイブ・クリスマス・12/31 の 15 時以降

入場料：大人＄10　子供（18 歳未満）・学生・シニア（65＋）＄5

（MIT 学生・職員・卒業生、5 歳未満、9～6 月毎月最終日曜日は無料）

科学・技術の分野を中心とするユニークな博物館。コンピューターやレーザー、工学、建築学などでMITが果たした業績を伝える展示がある。またハック（いたずら）の歴史コーナーも面白い。

●リスト・ビジュアル・アート・センター（MIT List Visual Arts Center）
20 Ames St., Building E15, Atrium level, Cambridge
☎（617）253-4680　http://listart.mit.edu
開館：火・水、金～日 12:00～18:00　木 12:00～20:00　休館：月・祝祭日
入場料：無料
MIT の所有する、現代美術の展示センター。

●ブラットル・ストリート（Brattle St., Cambridge）
植民地時代から独立戦争にかけて、親英派だったトーリー党員が多く住んでいたことからトーリー通り（Tory Row）とも呼ばれている。一帯は、春の木蓮から6月のライラックの季節まで、花の見頃が続く。ケンブリッジでも一番古い高級住宅地で、市の史跡に指定されている家もある。

●ロングフェロー・ハウス（Longfellow House）
105 Brattle St., Cambridge　☎（617）876-4491
www.nps.gov/long
アメリカの有名な詩人、Henry Wadsworth Longfellow が 1837 年から 45 年間住んでいた家。ロングフェローは「大きな栗の木」などの作者である。

セーラム（Salem）

●七つの破風の家（The house of the Seven Gables）
115 Derby St., Salem　☎（978）744-0991　www.7gables.org
開館：1 月中旬～2 月中旬 金～火 10:00～17:00
2/17～12/31 毎日 10:00～17:00（夏期 19:00 まで）
休館：1 月の前半
入場料：大人$14　シニア・学生$13　子供(13～18 歳)$11・(5～12 歳)$9
（5 歳未満は無料）
一時期、Nathaniel Hawthorne のいとこが住んでいた家で、ホーソンはこの家からのインスピレーションで‘The House of the Seven Gables’を書いた。

セーラムゆかりの歴史上の人物

～モースと大森貝塚～

ボストンから北へ約 20 マイル（Route128, Route114 経由）。1692 年、アメリカ史上に汚点を残す魔女裁判が行なわれた町。インド・中国との貿易で栄えた港でもある。また、ボストンが英国軍に占領された時、植民地軍に武器を調達したのはセーラムの船であった。‘The Scarlet Letter’（緋文字）の作者ナサニエル・ホーソン（Nathaniel Hawthorne）の生地でもある。
モースは貝の研究のために来日して、東京大学で動物学や生物学などを教えた。大森貝塚を発見して、日本の考古学の基礎を築いた。また日本の古い民芸品や生活用具などに深い感銘を受け、これを保存するために各地で、5,000 点以上の物を収集して、アメリカに持ち帰った。その中には、今の日本では全く見られなくなった物も随分ある。
セーラムにあるピーボディ博物館ではこれらを所蔵、展示している。

●セーラム魔女博物館(Salem Witch Museum)

19 1/2 Washington Square North, Salem ☎(978)744-1692
www.salemwitchmuseum.com
開館：9 月～6 月 10:00～17:00　7 月～8 月 10:00～19:00
休館：元日・感謝祭・クリスマス　12/24・12/31 の 15 時以降
入場料：大人$12 シニア$10.50 子供（6～14 歳）$9

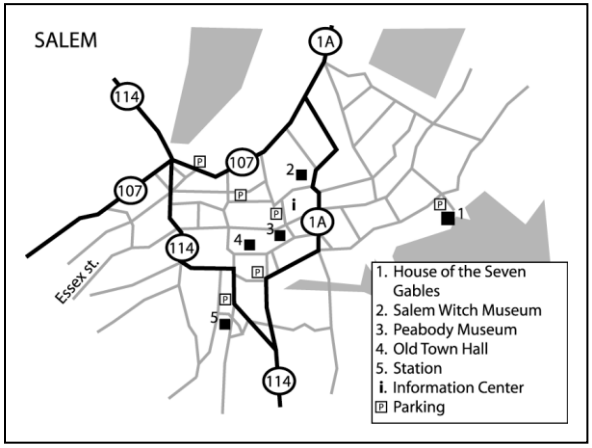
17 世紀にヨーロッパから飛び火してセーラムで起こった、魔女狩り・魔女裁判の様子を見せている。30 分毎にプレゼンテーションあり。団体予約(10 人以上)を入れると、日本語でのプレゼンテーションも可能。

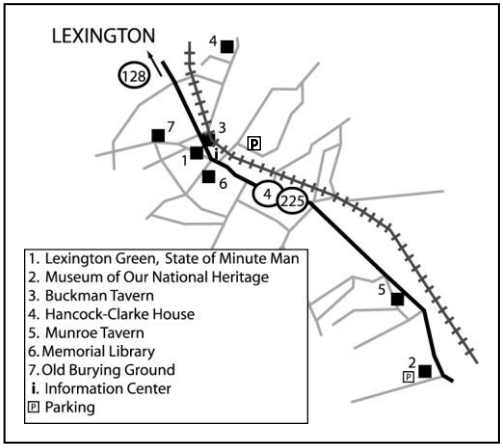
●ピーボディ博物館(Peabody Essex Museum)

East India Sq., 161 Essex St., Salem ☎(978)745-9500　(866)745-1876
www.pem.org
開館：火～日 10:00～17:00（毎月第 3 木曜日は 21:00 まで）
休館：月曜日・元日・感謝祭・クリスマス
入場料：大人$20 シニア$18 学生$12　(17:00 以降$12)
（16 歳以下、セーラム居住者は無料）

アメリカで最も古い博物館の一つで、海に関するコレクションで有名。大森貝塚を発見したモースが日本で集めた美術工芸、生活用品が 3 万点以上ある。写真部には百万枚以上のコレクションがあり、複写も可能。中には数千枚の 19 世紀の日本の写真もある。また、200 年以上前の、中国南方の商人の家、Yin Yu Tang は、家を丸ごと持ってきて組み立てたもの($6)。

▼Salem Maritime National Historic Site
アメリカの海軍の歴史を保管している。
160 Derby St., Salem
Visitor Center：2 New Liberty St., Salem
☎（978）740-1650
www.nps.gov/sama
開館：冬期水～日 10:00～17:00、4 月から 9:00～17:00
休館：元日・感謝祭・クリスマス
入場料：ビジターセンターで映画を見る場合は大人$5、子供$3
外回りは一年中（24 時間）見学自由。





レキシントン（Lexington）

●レキシントン・バトル・グリーン（Lexington Battle Green）

1775年4月19日早朝、独立戦争が勃発した場所。毎年この時期の‘Patriot's Day’には、早朝6:00から当時を再現する「法の制定式」がある。レキシントン図書館の小高い丘にある鐘楼は、住民に英国軍の侵攻を知らせたもの。また、‘Minute Man（Capt. John Parker）’の像があり、この像はコンコードにあるものとは形が若干違う。

●旧ナショナル遺産博物館（Scottish Rite Masonic Museum & Library）

33 Marrett Rd., Lexington　☎(781)861-6559　www.srmml.org
開館：水～土 10:00～16:00　　入場料＆駐車料：無料
休館：元日・感謝祭・クリスマスイブ・クリスマス
旧 National Heritage Museum（ナショナル遺産博物館）。アメリカ独立とレキシントンの歴史がテーマ。

＜Lexington Historical Society＞

以下の3箇所はLexington Historical Societyに含まれる。
3箇所入場料：大人$15　子供（6～16歳）$8　（5歳以下無料）
個別入場料：大人$8　子供（6～16歳）$5　（5歳以下無料）

●バックマン・タバーン（Buckman Tavern）

1 Bedford St., Lexington　☎(781)862-5598
開館：3月中旬～10月下旬　月～日 9:30～16:00
独立軍本部として使われたこの居酒屋から77人の兵士が出撃して行った。

●ハンコック・クラーク邸（Hancock-Clarke House）

36 Hancock St., Lexington　☎(781)861-0928
ジョン・ハンコックとジョナス・クラークが住んでいた家。ハンコックはサミュエル・アダムズと共に独立軍のリーダー的な存在であり、クラークは人々に独立心や愛国心を説いてまわった。1775年4月18日の夜、ハンコックとアダムズはこの家にいた。しかしポール・リビアが英軍の侵略をいち早く察知し、ボストンから馬を走らせこの家に知らせたため2人は助かり、ジョン・ハンコックは独立宣言書の第一番目に署名することになる。

●マンロー・タバーン（Munroe Tavern）

1332 Mass. Ave., Lexington, MA　☎(781)862-0295
1775年4月19日イギリス軍に一時占拠された居酒屋。1789年初代大統領のジョージ・ワシントンがこの地を訪れた時に、ここで夕食をとった。

▼Lexington Visitor Center
戦いの様子のジオラマ模型と資料が用意されている。
Corner at Merium St. & Bedford St., Lexington
☎（781）862-1450
www.Lexingtonma.gov

▼ボストンの地ビール「サミュエル・アダムズ」
Boston Beer Companyは1984年に創業。創業者の曾祖父が残したレシピが見つかり、そのレシピを基に、まずは台所でビールを作ってみたのが始まり。ビールの名前は、アメリカ独立の父の一人であるサミュエル・アダムズの名前にあやかってSamuel Adamsとした。

▼Lexington Historical Society
www.lexingtonhistory.org
ckauffman@lexingtonhistory.orgで予約をするとオフシーズンでもツアーを組むことが可能。

▼Jason Russell House
7 Jason St., Arlington
☎（781）648-4300
www.arlingtonhistorical.org
開館：4月中旬～10月中旬
土・日　13：00～16：00
入場料：大人＄5　子供＄2
1775年4月19日、独立戦争の発端となったLexington、Concordでの戦いの後も民兵は街道沿いのあちこちの家に集まり、イギリス軍を迎え撃った。それらの家の一つがArlingtonのJason Russell Houseで総勢12人の中にJason Russell もいた。

リンカーン（Lincoln）

●デコードバ美術館（DeCordova Museum and Sculpture Park）

51 Sandy Pond Rd., Lincoln　☎(781)259-8355　www.decordova.org
開館：（5～10 月）月～日 10:00～17:00
（10～5 月）水～金 10:00～16:00　土・日 10:00～17:00
休館：主な祝祭日・（10 月～5 月）月・火
入場料：大人$14　シニア$12　学生$10
（12 歳以下、リンカーン町居住者、現役軍人とその家族は無料）
湖畔の森の中にある小さな美術館。屋内・屋外の美術品の展示の他に、絵画・工芸を教えるアート教室も併設している。

コンコード（Concord）

●ウェイサイド（The Wayside-Author's Home）

455 Lexington Rd., Concord　☎(978)318-7863
www.nps.gov/nr/travel/pwwmh/ma47.htm
開館：5 月～10 月　（営業日・時間・料金は電話で問い合わせた方がよい）
作家 Louisa May Alcott が 1845～1852 年に、Nathaniel Hawthorne が 1852～1869 年に、Margaret Sidney が 1883～1965 年に住んだ家。

●オーチャード・ハウス（Orchard House – Home of the Alcotts）

399 Lexington Rd., Concord　☎(978)369-4118
www.louisamayalcott.org
開館：　4 月～10 月：月～土 10:00～16:30　日 13:00～16:30
11 月～3 月：月～金 11:00～15:00　土 10:00～16:30
日 13:00～16:30
休館：　元日・イースター・感謝祭・クリスマス・12/31
入場料：大人$10　学生・シニア$8　子供（6～17 歳）$5　家族＄25
ツアーはガイド付きのみ
「若草物語」の作者 Louisa May Alcott の住んだ家。物語の背景そのままの静かな郊外の風景が広がっている。Louisa の父 Amos Bronson Alcott は、アメリカ、ヨーロッパで広く知られた哲学者・教育者であった。

●スリーピー・ホロー墓地（Sleepy Hollow Cemetery）

34 Bedford St. B,（on Route 62 West）Concord　☎(978)318-3233
www.nps.gov/nr/travel/massachusetts_conservation/sleepy_hollow.html
Author's Ridge という一画にはオルコット家、エマーソン家、ソロー家などの墓がある。あまり観光客が行かない静かな墓地である。駐車場あり。

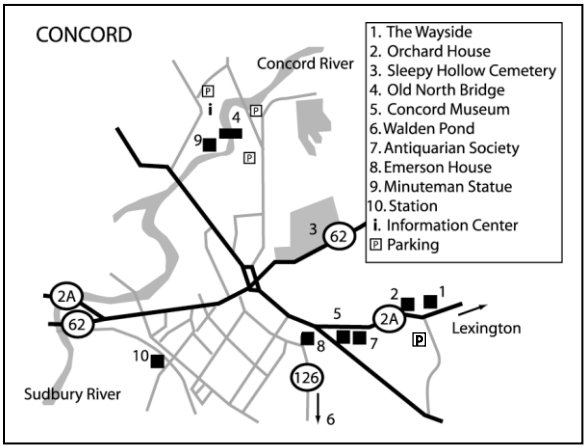
▼North Bridge Visitor Center（Minute Man National Historical Park）
174 Liberty St., Concord
☎（978）369-6993
www.nps.gov/mima
4～10 月 9:30～17:00
11～3 月 11:00～15:00
（日・月は休み）

▼オールド・ノース・ブリッジ（Old North Bridge）
コンコード川をはさんで英国軍と植民地軍との激戦が行なわれた場所。橋の手前には'Minute Man'（1 分以内に戦う態勢に入る農民兵）の像が立っている。現在のオールド・ノース・ブリッジはオリジナルではなく、1956 年に復元され、2005 年に修復工事を完了した。

●コンコード博物館（Concord Museum）

200 Lexington Rd., Concord　☎(978)369-9763
www.concordmuseum.org
開館：1月～3月：月～土 11:00～16:00　日 13:00～16:00（元日 12:00～17:00）
4月～12月：月～土 9:00～17:00　日 12:00～17:00
（6月～8月の日曜日は 9:00～17:00）
休館：イースター・感謝祭・クリスマス・クリスマスイブ 13時以降
入場料：大人$10　シニア（62＋）・学生$8　子供（6～17歳）$5
5歳以下と現役軍人は無料

18～19世紀頃のコンコード地方の家具調度品の展示。作家 Henry David Thoreau が使用していた家具や遺品、Ralph Waldo Emerson の書斎をそのまま移した部屋もあり、作家の生活ぶりを偲ばせる。



●ウォールデン池（Walden Pond Reservation）

915 Walden St., Concord（Route 126 West）
☎(978)369-3254
www.waldenpondstatereservation.wordpress.com

民族学者でもある Henry D. Thoreau は、この湖のほとりにキャビンを建て、その経験をもとに「森の生活」を著した。駐車場の一角にキャビンのレプリカがある。マサチューセッツ州により管理され、保護地区にも指定されているウォールデン池は、夏は公共の遊泳場となっている。入場は1000人が上限なので、事前に電話で確認した方がよい。

駐車場：MA 居住者$8（非居住者$10）

ダックスベリー（Duxbury）

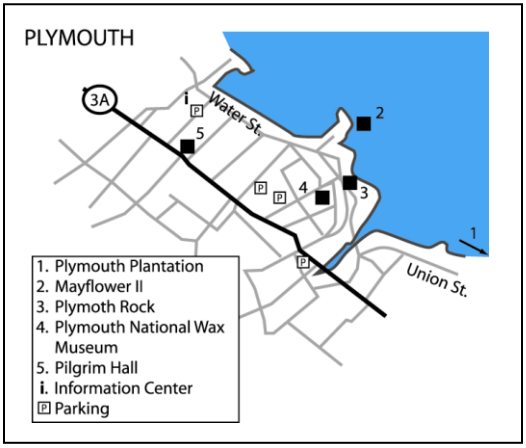
●アート・コンプレックス美術館（Art Complex Museum）

189 Alden St., Duxbury　☎(781)934-6634　www.artcomplex.org
開館：水～日 13:00～16:00　入場料：無料

茶室と日本庭園があり、日本に関するものが多く展示されている。夏には茶会やコンサートが開かれる。ボストンから車で約45分。

プリマス（Plymouth）

ボストンから南東へ40マイル。1620年、宗教の自由を求めてイギリスから渡ってきた清教徒が住み、定住を始めた土地。厳寒と食糧難のため、最初の冬に約半数が命を落とした。次の秋には先住民マサカイト族の協力で豊かな収穫を得た。それを神に感謝して先住民と共に祝ったのが、感謝祭（Thanksgiving）の始まりである。



●プリマス・プランテーション（Plimoth Plantation）

137 Warren Ave., Plymouth（Route 3A South）　☎(508)746-1622
www.plimoth.org
開館： 3 月中旬～11 月感謝祭後の日曜日まで　毎日 9:00～17:00
　　プリマスシネマは一年中開いている
入場料：大人$25.95　シニア(62+)$23.95　子供(5～12 歳)$15
　　4 歳以下無料　Plimoth Grist Mill とのコンビネーションチケットも
　　あり、大人$29.95　シニア$26.95　子供$19

1626 年頃の村を再現し、その当時の服装をした人々が、当時の暮らしぶりを見せる博物館。日本語パンフレットあり。オンライン・チケット購入も可。

●ネイティブアメリカンの夏のキャンプ（Hoamock's [Wampanoag] Homesite）

プランテーションの一部にある。最初からアメリカ大陸にいた先住民（Native American）の当時の生活ぶりを見せてくれる。ここでのスタッフは実在の先住民である。マサチューセッツ州やコネチカット州などにはネイティブアメリカンに由来した地名がある。

●メイフラワー2世号（MayflowerII）

77 Water St.,（at the State Pier）Plymouth　☎(508)746-1622
www.plimoth.org/what-see-do/mayflower-ii
開館：2019 年まで Mystic Seaport で復元作業中、売店は感謝祭まで開店

清教徒たちが乗って来たメイフラワー号を、オークの肋材から索具、カンテラ、手彩色の地図等の細部まで、注意深く復元したのが 2 世号である。この小さな船で乗客 102 名、乗組員 20 名余りが 66 日間かけてイギリスからやってきた。

●プリマス・ロック（Plymouth Rock）

79 Water St., Plymouth

'1620'と刻まれたプリマスロックは、メイフラワー号に乗ってやってきたピルグリムファーザーたちがプリマスで初めて足を降ろした岩。プリマスロックの見学台からの眺めが美しい。

●Waterfront Visitor Information Center in Plymouth

130 Water St., Plymouth　☎(508)747-7525
www.seeplymouth.com/visitor-centers/waterfront-visitor-information-center
開館：春・秋期 9:00～17:00　夏期 8:00～20:00

ケープ・コッド（Cape Cod）

www.capecodonline.com

Route 6A は曲がりくねった 2 車線の道路。道に沿ってギャラリー、アンティークショップ、陶芸品の店などが多く、5 月から 6 月にかけての新緑の季節は特に美しい。

Route 3 から Sagamore Bridge を渡ると、そこがケープ・コッド。ここで一番古い町 Sandwich はガラス工芸が盛んだった所で、小さなガラス博物館があり、昭和天皇・皇后両陛下が初めて渡米された折、皇后陛下がここを訪問された。

ケープ・コッドの入り口から幹線道路 Route 6 を走ると、岬の先端の町 Provincetown までボストンから約 3 時間。プロビンスタウンに近づくにつれ、国定公園の砂丘が雄大な姿を見せる。サガモア・ブリッジ手前のロータリーの右側にインフォメーションがあり、ここで地図などがもらえる。

ガイドブックは以下からダウンロードできる。

www.capecodcanalchamber.org/CWT/External/wcpages/visitor/visitor_information.aspx

●サンドウィッチ・ガラス博物館（Sandwich Glass Museum）

129 Main St., Sandwich ☎(508) 888-0251
www.sandwichglassmuseum.org
開館：2〜3 **月** **水〜日** 9:30〜16:00 4〜12 **月** **毎日** 9:30〜17:00
休館：1 **月・イースター・感謝祭・クリスマスイブ・クリスマス・**12/31
入場料：**大人**$9 **子供**（6〜14 **歳**）$2 5 **歳以下無料**

1825 年に作られた‘Boston & Sandwich Glass Company’のガラス製品が展示されている。世界的に有名なガラス美術館で、1825 年〜1888 年の間にサンドウィッチで作られた珍しいコレクションを広範囲にわたって展示している。

●ヘリテイジ博物館＆植物園（Heritage Museums & Gardens）

67 Grove St., Sandwich ☎(508) 888-3300
www.heritagemuseumsandgardens.org
開館：4 **月中旬**〜10 **月中旬** 10:00〜17:00
11 **月中旬**〜12 **月下旬** 17:00〜21:00
入場料：**大人**（12＋）$18 **子供**（3〜11 **歳**）$8 2 **歳以下無料**
AAA **会員割引あり**

子供連れにおすすめ。1912 年作のメリーゴランドにも乗れ、風車もあり、広い敷地内には 30 台以上のクラシックカーのコレクション、アメリカ史展示、アートギャラリーなどがある。敷地内を歩くだけでも楽しい。

マーサズ・ヴィニヤード（Martha's Vineyard）

www.mvy.com

ケープ・コッドの南、大西洋に浮かぶ小さな島マーサズ・ヴィニヤードとナンタケットは、ニューイングランドのサマーリゾート地である。マーサズ・ヴィニヤードの名前は、1602 年にこの地を発見した Bartholomew Gosnold が、島に生い茂る野生のぶどうと自分の娘の名マーサ（Martha）にちなんで命名したもの。島は 6 つの町から成り、中心は Edgartown。The Harbor View Hotel の海側の部屋は最高の眺め。または町の中心地に近い Kelly House も便利でよい。

●ジンジャーブレッド・カテージ（Gingerbread Cottages）

Oak Bluffs 町の、その名の通りお菓子の家のような小さな家が並ぶ一角。

●ファーム・ネック・ゴルフクラブ（Farm Neck Golf Club）

島には 3 つのゴルフコースがあり、そのうちの一つであるこのコースはセミプライベートで、前述のハーバービューホテルの宿泊客は利用できる。

◎島への交通

・ フェリー： Woods Hole、Hyannis、Nantucket、New Bedford、Falmouth から出ている。 www.vineyardferries.com

Woods Hole から 45 分◇Steamship Authority ☎(508) 477-8600 www.steamshipauthority.com

Falmouth から 35 分◇Island Queen www.islandqueen.com

運賃/往復： 大人$22 子供（5~12 歳）・現役軍人$12 4 歳以下無料

・ 飛行機： ボストンから片道$99

◇Cape Air ☎(800) 227-3248 www.flycapeair.com

ナンタケット・アイランド（Nantucket Island）

www.nantucketchamber.org（日本語の説明サイトあり）

マーサズ・ヴィニヤードよりさらに小さい島。ケープ・コッドの Falmouth からフェリーで 2 時間、又はマーサズ・ヴィニヤードから 10 人乗りのセスナ機で 15 分。空港から町の中心地まではタクシー、それ以外は徒歩や自転車で島巡りができる。

ニューベッドフォード（New Bedford）

●捕鯨博物館（New Bedford Whaling Museum）

18 Johnny Cake Hill, New Bedford ☎(508) 997-0046

www.whalingmuseum.org

開館：（1~3 月） 火~土 9:00〜16:00 日 11:00~16:00

（4~12 月） 毎日 9:00〜17:00（第 2 木曜日は 20:00）

休館：元日・感謝祭・クリスマス

入場料：大人$16 シニア$14 学生$9 子供（4〜18 歳）$6 3 歳以下無料

▼子供連れ旅行

小さな子供連れ旅行にはキッチン付き（Suite with kitchenette）がおすすめ。電子レンジと冷蔵庫があれば、ミルクや離乳食、簡単な食事も作れるので、子供がぐずってレストランに行けない時などとても便利です。'crib'（赤ちゃん用ベッド）を用意してあるホテルも多いので、部屋と一緒に予約しておくと安心です。B&B は小さな子供は泊まれないことが多いので、予約の時に年齢の下限を確認するとよいでしょう。

▼万次郎トレール

ホイットフィールド・万次郎友好協会

www.whitfield-manjiro.org

フェアフェブンにあるジョン万次郎が住んでいた家、通った学校、英語を習った先生の家、教会などゆかりの場所を訪ねる。

1. ミリセント図書館
2. 旧ユニタリアン教会
3. ホイットフィールド船長の家
4. イーベン・エイキンの家
5. アレン姉妹の家
6. ホイットフィールド家墓
7. オールド・ストーン学校
8. ルイス・バートレット校

19 世紀半ばまで世界一の捕鯨基地として栄えた New Bedford にある。捕鯨の歴史に関するコレクションでは世界最大。マッコウ鯨の実物大の模型や、ジョン万次郎を救助したホーランド号の絵、鯨の骨の工芸品なども展示している。劇場では、アメリカの捕鯨産業の歴史を紹介する映画を上映している。

ニューベッドフォードゆかりの歴史上の人物

～ジョン万次郎とニューベッドフォード～

まだ日本が鎖国をしていた頃、土佐の少年万次郎はカツオ漁の途中しけに遭い、5 人の漁師と無人島に漂着した。そこを航海していたアメリカの捕鯨船に助けられ 4 人はホノルルへ着き、一番年が若かった万次郎はホイットフィールド船長に連れられてニューベッドフォードへやってきた。16 歳で地元の小学校に入り、その後航海術や天文学などを学んだのち、日本に帰国。各地の藩校などで近代技術や西洋事情の講義をして、開国の必要を唱えた。ペリー来港後、1858 年日米修好通商条約が結ばれると、日本使節団の初の通訳として同行し活躍した。坂本竜馬、勝海舟、福沢諭吉などが万次郎から強い影響を受けたといわれている。万次郎は日本の開国、明治維新に重要な役割を果たした人物といえる。

ウースター（Worcester）

●ウースター美術館（Worcester Art Museum）

55 Salisbury St., Worcester　☎(508) 799-4406
www.worcesterart.org
開館：水~金・日 11:00～17:00（第 3 木曜 20:00 まで）土 10:00～17:00
休館：月・火・元日・イースター・独立記念日・感謝祭・クリスマス
入場料：大人$14　シニア$12　学生$12（第 3 木曜無料）
　　子供（4~17 歳）$6　3 歳以下と第一土曜の午前は無料
アメリカ絵画のコレクションが充実している。アートクラスも受講できる。

オールド・スターブリッジ（Old Sturbridge）

●オールド・スターブリッジ村（Old Sturbridge Village）

1 Old Sturbridge Village Rd., Sturbridge　☎(800) 733-1830
www.osv.org
開館：1~2 月・12 月開館日あり（3~4 月）水~日 9:30～16:00（5～10 月）
　　水~日 9:30～17:00（11 月～感謝祭後の日曜）9:30～16:00
休館：月・火
入場料：大人$28　シニア（55＋）$26　学生・子供（4 歳～17 歳）$14
　　3 歳以下無料
ボストンから Mass Pike で西に約 1 時間、Exit9 で降り、標識に従って進めばよい。1830 年代の米国ニューイングランド地方の村の生活を再現した博物館。当時の学校、民家などがそのまま保存され、タイムスリップしたかのようである。収穫の季節、特に感謝祭には珍しい体験ができる。プリマス・プランテーションより大規模で植民地当時そのままの生活体験ができる。

▼当時のままの作業風景

ディアフィールド（Deerfield）

Route 2 を西へ行き、Route 5 と Route 10 を Deerfield まで。ボストンから約 90 マイル。18 世紀の植民地時代の家から 19 世紀のビクトリア朝の邸宅までがそのまま残っており、12 軒の歴史ある建物の内部が見学できる。この村は先住民に一度襲撃されたが、再び建て直され、その後はひっそりと当時のままの状態が保存され今日に至っている。また「若草物語」の映画ロケ地にも使われた。

▼ディアフィールドの歴史を感じさせる古き宿屋
Deerfield Inn
81 Old Main St.,
Deerfield, MA
☎ (413) 774-5587
☎1-800-926-3865
www.deerfieldinn.com

●Historic Deerfield

Old main St., Deerfield ☎(413)774-5581 www.historic-deerfield.org
開館：4 月中旬～12 月下旬 9:30～16:30 冬期は予約による 休館：感謝祭
入場料：大人$18 子供（6~17 歳）$5 5 歳以下・町の居住者無料

バークシャー（Berkshire）

マサチューセッツ州の西端バークシャー地方は、夏から秋にかけてアメリカ有数の美しい山間リゾート地となる。また、ボストンシンフォニーの夏の拠点でもある。南北に走る Route 7 沿いにはクラフト、アンティーク、陶芸店などが並ぶ。

●ハンコック・シェーカー村（Hancock Shaker Village）

1843 W Housatonic St., Pittsfield ☎(800) 817-1137/(413) 443-0188
ww.hancockshakervillage.org
開館： 4 月中旬～6 月末 10:00～16:00 7 月～11 月中旬 10:00～17:00
11 月中旬～12 月中旬（週末のみ）10:00～16:00
入場料：大人$20 シニア$18 子供（13~17 歳）$8 12 歳以下無料
独自の生活様式を守っていたクェーカー教徒たちの村。

●ノーマン・ロックウェル美術館（Norman Rockwell Museum）

9 Glendale Rd./Rte. 183, Stockbridge ☎(413)298-4100 www.nrm.org
開館：5 月～10 月および週末・祝祭日 10:00～17:00
11 月～4 月（平日）10:00～16:00
入場料：大人＄18 シニア$17 退役軍人$16 学生＄10 子供（6~18 歳）$6
5 歳以下無料
ユニークな作風で知られる画家ロックウェル（Rockwell）の作品を展示。

モホーク・トレイル（Mohawk Trail）

Route 2A 沿いの Athol から Williamstown までの 69 マイルの行程。秋は紅葉街道として有名。5 万エーカーの森や公園が色づく様は見事である。

●The Clark Art Institute

225 South St., Williamstown ☎(413) 458-2303 www.clarkart.edu
ルノアール、モネなどのフランス印象派のコレクションで有名。
開館：9～6 月 火~日 10:00～17:00 7～8 月毎日 10:00～17:00
休館：月・元日・感謝祭・クリスマス 入場料：大人$20 学生・18 歳以下無料

New England と北東部地方の観光名所

メイン州（Maine）

全土の 90%を森林が占め、海岸線は全長 400 キロにも及ぶメイン州は観光産業と野外レクリエーションが経済の主力となっている。風光明媚で野外アクティビティもたくさんあり、別名バケーションランドとも呼ばれる。

●アケイディア国立公園（Acadia National Park）

アケイディア国立公園は、メイン州の Mt. Desert Island を中心とした 47,000 エイカーの太平洋に面した、New England 唯一の国立公園である。岩場の海岸、森、氷河でできた渓谷などもあり、Mt. Cakilac はアメリカ東海岸で、最も高い山である。また、ムース、熊などの野生動物も生息し、鯨、海鳥などの観察も楽しめる。国立公園入口近くの Bar Harbor には、レストラン、ホテル、ショッピング街、レンタサイクルショップなどもあり賑わっている。ボストンからは、I-95N で 5 時間弱、飛行機でも 80 分で行ける。

●ポートランド（Portland）

ポートランドは、メイン州の文化・社会・経済の中心地である。また、歴史的な街並みを残し、レストランやバーが集中する港沿いの Old Port 地区、Henry Wadsworth Longfellow の成果をはじめとする博物館・美術館がたち並ぶダウンタウン、ケープエリザベスからの夕日など見所も多い。

ニューハンプシャー州（New Hampshire）

●ホワイト・マウンテン国有林（White Mountain National Forest）

ボストンから Route 93 を北上 ‘White Mountain National Forest’へ。国有林のほぼ中央を走る渓流沿いの山道 ‘Kancamagus Highway’ は有名な紅葉街道。‘Kancamagus’ の東端はアウトレット街の North Conway。消費税のないニューハンプシャー州ならではのショッピングが楽しめる。Conway から Bretton Woods への途中 ‘Willey House’ と ‘Silver Cascade’ がある。Bretton Woods 近くにある ‘Mt. Washington Hotel’ は古くて由緒あるホテル。

Mt. Washington の山頂までの道のりは狭くて曲がっている。車で頂上まで登ると「この車はワシントン山に登った」という証明書がもらえる。また、ここは強風でも有名なところ。風を利用して飛んでいるグライダーを見ることもある。

> ニューハンプシャー州ゆかりの歴史上の人物
> ニューハンプシャーのポーツマスでは 1905 年（明治 38 年）、日露戦争の講和会議が開かれ、日本の全権大使は小村寿太郎だった。

▼観光ガイド

メイン州
Maine Office of Tourism
☎(888)624-6345
www.visitmaine.com
メイン州は、ロブスターの年間水揚げ高は、全米一、野生のブルーベリーの収穫量は世界一。

Rugosa Lobster Boat Tour
＜ロブスター漁　体験乗船＞
www.rugosalobustertours.com
Kennebunkport, ME（ケネバンクポート、メイン州）にある
The Nonantum Resort の所有する実際のロブスター船に乗り、美しい海岸線を眺めながら漁場まで行き、ロブスター捕獲の模擬体験ができる。
開業期間：5 月下旬～10 月中旬
一日に 3 回、 10:30am, 1:00pm と 3:30pm に Resort から出航
料金: $35 から
The Nonantum Resort
95 Ocean Avenue,
Kennebunkport, ME
☎ (207) 494―1145
www.nonantumresort.com
ケネバンクポートは、ブッシュ元大統領が Walker’s Point に別荘を構え、メイン州でも有数のお洒落なビーチリゾート地として知られる。

ニューハンプシャー州
☎(800)386-4664
www.visit-newhampshire.com
www.visitnh.gov
ニューハンプシャーのモットーは、車のプレートにもなっている「Live Free or Die」。

ホワイト・マウンテン国有林
☎(603)536-6100
www.fs.usda.gov/whitemountain

●ディーゼル／蒸気機関車（Mount Washington Cog Railway）

Bretton Woods., NH　☎(603)278-5404　www.thecog.com

期間：4 月下旬～11 月末　Cog Railway

Cog Railway 料金：大人（13～64 歳）$69/蒸気$75　シニア（65＋）$65/$69

子供（4～12 歳）$39/$39　3 歳以下無料　片道$48/$48

ホテルから 5 マイルくらいのところから Mt. Washington の頂上へ、最大傾斜 37%を登る Cog Railway が出ている。往復 3 時間、蒸気機関車始発は 8 時か 9 時。夏期は予約をした方がよい。また頂上は真夏でも寒い。

バーモント州（Vermont）

▼Vermont 観光ガイド
☎(800)837-6668
www.tourism.state.vt.us
www.vermontvacation.com

バーモント州には、標高 600 メートルを超える山が 220 以上あり、その山々に囲まれた肥沃な渓谷が農業、畜産を促進している。ファーマーズマーケットの普及を長年リードし、国民一人当たりのクラフトビール醸造所もアメリカで最も多い。

●グリーン・マウンテン国有林（Green Mountain National Forest）

バーモント州のシンボルでもあるグリーン・マウンテンは、隣りのニューハンプシャー州にあるホワイト・マウンテンより低く、年中緑であることからこの名がある。アメリカ東部の南から続くアパラチア山脈の一部である。Route 7を北上すると、芸術家の町 Bennington がある。Route 100 沿いのグリーン・マウンテンを望むストウ（Stowe）に‘The Sound of Music’で有名な Trapp 一家が移り住み経営する、ホテル Trapp Family Lodge もある。

●ベニントン美術館（Bennington Museum）

75 Main St., Bennington, VT 05201　☎(802)447-1571

www.benningtonmuseum.com

開館：毎日 10:00～17:00

休館：1 月・11 月～5 月の水曜日・イースター・独立記念日・感謝祭・クリスマス

入場料：大人＄10　学生・シニア（62+）＄9　17 歳以下無料

バーモントの歴史を伺わせる芸術作品のコレクション。特に農婦で母親の目で描いた暖かみのある Anna Moses の作品（Granma Moses Collection）が一堂に展示されている。Bennington Pottery ギャラリーもある。

ロードアイランド州（Rhode Island）

▼Rhode Island 観光ガイド
Rhode Island Tourism Division
☎(800)556-2484（24 時間）
www.visitrhodeisland.com
www.visitri.com

●ニューポート（Newport）

ボストンから南へ約一時間、ロードアイランド州のリゾート地。ここはかつてのアメリカの富豪たちが、夏の別荘のために贅を尽くして造らせた大邸宅（Mansion）が多いことで有名である。そのほとんどは現在‘The Preservation Society’に属し、博物館として見学できる。

中でも見事なのはアメリカの鉄道王バンダービルト（Vanderbilt）が 16 世紀イタリア宮殿を模して建てた‘The Breakers’、映画「華麗なるギャツビー」や‘True

▼ニューポートマンション

Lies'に使われた'Rosecliff'などがある。ツアーのみの見学となるので、時間には余裕を持った方がよい。見学する数によりディスカウントがある。また、ニューポートは黒船で日本にやって来たペリー提督生誕の地でもある。下田市と姉妹港であり、毎年「黒船祭」を行っている。その他、夏には音楽祭 'Newport Jazz Festival'が開催される。国際テニスの殿堂もある。

◇The Preservation Society of Newport County
424 Bellevue Ave., Newport, RI 02840 ☎(401)847-1000
www.newportmansions.org
開館：オンシーズン 10:00〜17:00 オフシーズン（1〜4 月）10:00〜16:00
（The Breakers は一年中開館しているが、ほかはシーズンによって異なる）
入場料：各種パッケージあり （大人＄17.50〜＄35）
休館：ウエブサイトで確認
Hunter House 以外のマンションには無料駐車場がある。ベビーカーでの入館は禁止。マンション間にはトローリーバスが走っている（有料）。

▼Connecticut観光ガイド
Connecticut Tourism
☎(800)282-6863
www.visitconnecticut.com
www.ctvisit.com

コネチカット州（Connecticut）

ボストンから車で 2 時間程のところにある Hartford には「トム・ソーヤーの冒険」(The Adventure of Tom Sawyer)の作者マーク・トウェイン(Mark Twain)の家や、「アンクル・トムの小屋」(Uncle Tom's Cabin)の作者ストウ夫人(Harriet B. Stowe)の家もある。

●マーク・トウェインの家と博物館(The Mark Twain House & Museum)
351 Farmington Ave., Hartford, CT 06105 ☎(860)247-0998
www.marktwainhouse.org
開館：毎日 9:30〜17:30
休館：1〜2 月・3 月最終の火曜日・元日・イースター・独立記念日・感謝祭・12/24〜25
入場料：大人＄20 シニア(65＋)＄18 子供（6〜16 歳）＄11 5 歳以下無料

●ハリエット・ビーチャー・ストウ センター(Harriet Beecher Stowe Center)
77 Forest St., Hartford, CT 06105 ☎(860)522-9258
www.harrietbeecherstowe.org
開館：月〜土 9:30〜17:00 日 12:00〜17:00
休館：1〜3 月の火曜日・元日・イースター・独立記念日・感謝祭・12/24〜25
入場料：大人＄14 シニア・学生＄12 子供(5〜16 歳)＄8 4 歳以下無料

●フォックスウッド・リゾート＆カジノ(Foxwoods Resort & Casino)
350 Trolley Line Blvd., Mashantucket, CT 06338
☎(800)369-9663 www.foxwoods.com

●モヒガン・サン(Mohegan Sun)(カジノ)
1 Mohegan Sun Blvd., Uncasville, CT 06382
☎1-888-226-7711 www.mohegansun.com

ニューヨーク州（New York）

●ナイアガラの滝（Niagara Falls）

ボストンから約 8 時間。カナダとの国境沿い、オンタリオ湖とエリー湖の間に位置する。この滝は過去の氷河期に作られた。毎分 17 万㎥以上の水が流れ落ちる。「ナイアガラ」という名は先住民によって名付けられたもので、「水の雷」という意味がある。カナダ側の方が水量があるので迫力があり、ショップ、ホテル、アトラクションも多い。カナダ側へ渡るならパスポート、ビザを忘れずに。

◎Maid of the Mist（霧の乙女号）

船に乗って滝の近くまで行くツアー。アメリカ側とカナダ側の両方から出ている。アメリカ側の方がすいている。2 階デッキの方が迫力あり。

料金：大人$18.25　子供（6~12 歳）$10.65

（Discovery Pass 一日周遊券/霧の乙女号）大人$45　子供（6~12 歳）$34

◎Cave of the Winds（風の洞窟ツアー）

アメリカ側のゴート島から滝の下にエレベーターで 53m降り、木製のトレールを歩きハリケーン・デッキで滝を最も近く真下で見る人気アトラクション。

▼ナイアガラ観光ガイド
www.niagarafallsusa.com
www.e-maple.net

▼ナイアガラの滝で、美しい虹に感激！
晴れた日にはほぼ確実に虹が見られるそうですが、それはそれはとっても大きくきれいな虹でした。「霧の乙女号」に乗っていたので目の前に大きな虹をいくつも見ることができ、とても感激しました。

●サラトガ・スパ州立公園（Saratoga Spa State Park）

19 Roosevelt Dr., Saratoga Springs, NY 12866　☎(518) 584-2535
www.saratoga.com

アメリカの温泉（冷泉）場。Mass. Pike で西へ 3 時間。ニューヨークの州都 Albany から少し北上したところにある。Saratoga State Park 内。ニューヨークの避暑地として有名であるため、周辺にはたくさんの宿泊施設がある。他ゴルフ、テニス、スパ、乗馬などの娯楽施設もある。

●マンハッタン（Manhattan）

世界経済の中心ともいえるマンハッタンだが、観光スポットや美術館等もたくさんある。ボストンからは車で約 4 時間。鉄道やバスも出ている。ブロードウエイのミュージカルやメトロポリタン美術館、近代美術館、ブルーノートでのナイトミュージックも楽しめる。

◎ニューヨーク市内日本語観光

一日観光には、ブロードウェイ劇場街、タイムズ・スクエア、五番街等を通り、ハーバークルーズからの自由の女神見学、ロックフェラー・センターの展望台入場等の見学も含まれている。

◇JTB USA　一日観光$89/8 時間　☎(800) 566-5582　www.jtbnewyork.com
◇HIS オリジナルツアー$73/6 時間、NY 主要名所とチェルシーマーケット
◇VELTRA ツアー　www.veltra.com/jp/north_america/new_york

ニュージャージー州（New Jersey）

▼New Jersey 観光ガイド
New Jersey Travel & Tourism
☎(800)JERSEY-7
(☎800-537-7397)
☎(800)VISIT-NJ
www.visitnj.org

●MITSUWA
595 River Rd., Edgewater, NJ 07020　☎(201)941-9113
www.mitsuwa.com
営業：毎日 9:30〜21:00
アメリカ北東部地方では、最大の日本食料品大手スーパーマーケット。マンハッタンから専用シャトルバスが出ていて、約 30 分。お茶、漬物、和菓子、酒類、電化製品まで日本のものがほとんど手に入る。隣りのビルに紀伊国屋、ガラス食器店、日本雑貨店、化粧品店等がある。

ペンシルバニア州（Pennsylvania）

▼Pennsylvania 観光ガイド
Pennsylvania Office of Travel
☎(800)VISIT-PA (24 時間)
(☎800-847-4872)
www.visitpa.com

▼フィラデルフィア観光センター
Philadelphia Visitor Information
☎(800)537-7676
www.independencevisitorcenter.com

●フィラデルフィア(Philadelphia)
アメリカ合衆国建国の地。独立軍の将軍ジョージ・ワシントンやフランスとの外交で独立への役割を果たしたベンジャミン・フランクリンらの活躍した場所。また、トーマス・ジェファーソンの草案による自由、平等、博愛をうたった独立宣言は、1776 年 7 月 4 日独立記念館(Independence Hall)にて正式に採択された。植民地としてのフィラデルフィアは、1682 年に英国貴族ウィリアムペンによって建国が開始される。ボストンが宗教に関して祖国の伝統を厳格に守っていたのに対して、ウィリアムペンは信仰の自由を保障し、彼の理想に基づく町づくりを行ない、貿易、商業の中心として栄えた。

●自由の鐘展示館(Liberty Bell Pavilion)
Market St., Philadelphia, PA 19106(5th と 6th St.の間)　☎(215)965-2305
開館：9:00〜17:00　7〜8 月は延長時間あり　入場料：無料
ペンシルバニア植民地 50 周年を記念してロンドンで鋳造された。独立記念館にあったこの鐘は、独立を宣言する際高らかに鳴らされた。その後亀裂が入ったため、展示館に納めて一般公開している。

●独立記念館(Independence Hall)
(GPS) 520 Chestnut St., Philadelphia, PA　☎(215)965-2305
www.nps.gov/inde/planyourvisit/independencehall.htm
開館：毎日 9:00〜17:00　休館：クリスマス
独立宣言が採択された部屋などが見られる。15 分毎にツアーが出発。

＊火星体験ができるフランクリン博物館、全米三位の規模のフィラデルフィア美術館、「考える人」のロダン美術館などもある。